⚠ 危険

身体のトラブルを防ぐために

●次の医用電気機器を使用している人や、医用電気機器や家庭用電気治療器の近くでは、絶対に使用しない。（医用電気機器や家庭用電気治療器の誤動作をまねき、身体に著しい障害をもたらすおそれがある）

- ペースメーカーなどの体内植込み型医用電気機器
- 人工心肺などの生命維持用医用電気機器
- 心電計や点滴器などの装着型の医用電気機器

●次のような人は使用しない。（事故や体調不良、けがの原因）

- 心臓疾患など、心臓に異常のある人
- 金属アレルギーなどのアレルギー性疾患がある人
- 顔面神経麻痺など、顔面の神経に障害のある人
- 出血性疾患、血友病疾患などの血液異常の人
- 歯を治療中の人
- 18 歳未満の未成年、および自分で意思表示のできない人
- 交通事故などにより頭部に後遺症がある人
- 痛みや温度の感覚が自覚できない人
- カップの持ち手や食器が正常に握れない人
- 妊娠中もしくは妊娠をしている可能性のある人
- 過去に類似する電気機器などで具合が悪くなったことのある人
- 自己免疫疾患のある人

●次のような場合は使用しない。（身体のトラブルの原因）

- 体調がすぐれない場合、疲労の激しい場合
- 極度に体力を消耗した場合（大きな手術の術後、長期入院の退院後、産後など）
- 飲酒や薬の服用などにより、正常な判断ができない状態である場合
- 手や口内、口周辺に傷や湿しん、はれものなどの異常がある場合

●人以外には使用しない。（事故やけがの原因）

●次のような人は、医師に相談のうえ、使用する。
（事故や体調不良の原因）

- 今までに重い病気をした人
- 急性疾患の人
- 有熱性疾患の人
- 感染症疾患の人
- 悪性腫瘍（しゅよう）のある人
- 糖尿病などによる高度な末梢循環障害による知覚障害のある人
- 通院して薬を服用中の人

●痛みや異常を感じたら、すぐに使用を中止する。
痛みや異常が使用を中止しても継続するようなら、すぐに医師に相談する。
（事故や身体のトラブルの原因）

●強い刺激や違和感を感じる場合、使用を中止する。
（事故や身体のトラブルの原因）